

平成29年度 飼料用米(夢あおば)栽培ごよみ

J A 福 岡 京 築
京 築 普 及 指 導 セ ン タ ー

〈 品 種 の 特 性 〉※表中のデータは平成27～28年の現地適応性試験結果に基づく

品種名	田植時期	出穂期	成熟期	耐倒伏性	穂発芽性
夢あおば	6/20	8/25	10/19	極強	中
ヒノヒカリ	6/15	8/27	10/7	やや弱	難

生産目標	
収量(籾重)	800kg/10a
m ² 当たり穂数	320本
m ² 当たり籾数	34,000粒
登熟歩合	80%
玄米千粒重	25.5g

月	5			6			7			8			9			10					
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
生育	育苗						最高分け時期	幼穂形成期			出穂期			成熟期							
栽培管理	(下記参照) 箱施薬剤						田植え (下記参照)	中干し			穂肥 1	穂肥 2	(下記参照) 基幹防除			※出来るだけ立ち毛乾燥 収穫					

※病害虫や雑草が発生した場合は本田防除を行う

〈 栽 植 密 度 〉 50～55株/坪 (条間30cm、株間20～22cm)

〈 施 肥 基 準 〉 (10a当たり)

(基肥と穂肥施用)

基 肥				穂肥 1 ※	穂肥 2 ※
全層施肥		側条施肥		硫安 (21-0-0)	硫安 (21-0-0)
ベスト化成 444 (14-14-14)	発酵鶏糞 (ペレット状)	機械専用 242 (12-14-12)	ベスト化成 444 (14-14-14)		
60kg	300kg	60kg	55kg		

(基肥のみ施用)

全層施肥	側条施肥
えさ米専用一発25 (25-6-6)	
60kg	55kg

※安定収量確保のため施肥基準を守りましょう!

- ・発酵鶏糞施肥の場合は、田植えの1週間～10日程度前に施肥する。また、中干し時期までは浅水管理を行う。
- ・1回目穂肥は出穂前18～20日(幼穂長2mm程度)、2回目は1回目の7～10日後。
- ・省力施肥の場合は、えさ米専用一発25を施肥する。

〈 病 害 虫 防 除 〉

●箱施薬

薬 剤 名	施 用 時 期	施 用 量	対 象 病 害 虫
デジタルパワー箱粒剤	移植3日前～当日	1箱当たり 50g	いもち病、ウンカ類(縞葉枯病)、イネツトムシ、イネミズゾウムシ、コブノメイガ、フタオビコヤガ、ツマグロヨコバイ、ニカメイチュウ

●基幹防除(出穂前防除)

薬 剤 名	散 布 時 期	施 用 量	対 象 病 害 虫
アプロードロムダン モンカットF粉剤DL	出穂前まで	3～4kg / 10a	紋枯病、ウンカ類、イネツトムシ、フタオビコヤガ

●補正防除

農薬名	病害虫名	散布量	散布時期
撒粉ポルドー粉剤DL ドイツポルドーA ラテラ粉剤 モンガリット粒剤	稲こうじ病	3～4kg / 10a 希釈倍率2000倍、散布液量60～150ℓ 4kg / 10a 4kg / 10a	出穂20日前まで (※撒粉ポルドー粉剤DL、ドイツポルドーAは、出穂まで10日間を切ってから散布すると薬害が出ますので、注意してください)
アプロードバッサ粉剤DL	ウンカ類、ツマグロヨコバイ	3～4kg/10a	収穫7日前まで
キラップ粉剤DLまたは粒剤	ウンカ類、カメムシ類	3kg/10a	収穫14日前まで

※トビイロウンカの飛来が多い場合は補正防除を実施する(特に問題ない場合は出穂期以降の防除はできるだけ行わない)。

〈 雑 草 防 除 〉

農薬名	使用量	散布時期
ガンガン1キロ粒剤	1kg/10a	移植時～30日以内 ノビエ3.0葉期まで
ウイナー1キロ粒剤51	1kg/10a	移植時～30日以内 ノビエ2.5葉期まで
サラブレッドKAI1キロ粒剤	1kg/10a	移植時～30日以内 ノビエ2.5葉期まで
サラブレッドKAIフロアブル	500ml/10a	移植直後～30日以内 ノビエ2.5葉期まで
サラブレッドKAIジャンボ	10パック/10a	移植直後～30日以内 ノビエ2.5葉期まで
クサトリ-BSX1キロ粒剤	1kg/10a	移植時～30日以内 ノビエ2.5葉期まで
クサトリ-BSXフロアブルL	500ml/10a	移植直後～30日以内 ノビエ2.5葉期まで

※その他除草剤については、稲作ごよみや注文書を参考にしてください

**除草剤の田植同時施用は、
高温や圃場条件によって苗
の活着や生育おくれなど影
響を及ぼすことがあるので、
使用上の注意をよく読んで
利用してください。**